

こぶしだより

1994年5月31日

-発行- 第168号

こぶし作業所

宇都宮市柳田町1401

☎0286(62)1911

共作連

第17回 全国集会

去る5月14日(土)15日(日)の2日間に渡り、共同作業所全国連絡会(共作連)の第17回全国集会在、埼玉県浦和市で開かれました。

こぶし、けやぎの両作業所から、仲間の代表4名(直井見目ア・岸・大橋)と、自主参加の2名、職員9名、家族1名、計16名が参加しました。今集会は、心身障害者基本法が23年振りに改正されたのをはじめ、「アジア・太平洋障害者の10年のスタート」

思いを表現できる人間に

随想

娘がこの4月から一年生になり、また私が町やき作業所勤務と、新しい生活が始まり、たわひですが、今、やっとなんか、余裕が出てきたところ、朝は七時に登校班の仲間達と歩いて出かけて行きます。その大きなランドセルを背負い歩いて行く姿を見送りながら、私もがんばるぞ、と

参加した仲間、職員は、入門講座や分科会に分かちて学びました。自治会代表の4名の仲間たちは揃って「自治会活動と仕事のこと」という分科会に、レポート(けやぎ)を持って参加しました。又、自主参加の牛丸君、酒巻さんは、グループホームの分科会に。

活発に発言する全国の仲間たちに少々圧倒された様子で、紹介、レポートの報告をし、2日間、熱心な討論に耳を傾けていました。

夜の交流会では、手話落語あり、うたごえあり、ごちそうも山ほどあり、楽しく盛り上がりました。栃木からの参加者が話していました。「仲間が主人公、アかんじ。やっぱり共作連だね。」本場に集い、学ば、交流し合いました。

参加者の感想

大橋 木下がきいだった。立食パーティー楽しかった。仕事いっばいあった。

岸 他の作業所の人と仲良くなった。また行きたい。

牛丸 とても疲れた。みんな明るく働いているなと感じた。来年も行きたい。自分がグループホームで生活することに、ある程度自信が持った。

酒巻 一日目ダウンして、どこにも出られず、二日目グループホーム(分科会)に行けたが、話がよくなるからなかつた。グループホームで生活することは難しい(できない部分が多そう)気がした。

見目の 他の作業所は、給料と、感じさせられた一場面でした。

私達大人は、とかく体裁を気にしたり、思っていることをあいまいにしついたり、その人の持つ力(可能性)を伸ばし、人間らしく生きていける生活が大切なことだと思っています。

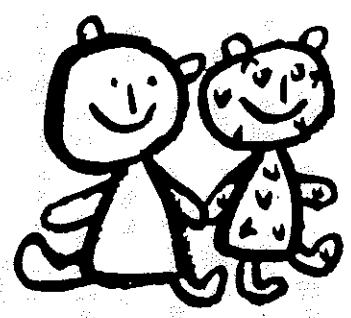
障害児教育でも何かを手伝って、思っていることを表現できる人間に育つていくことができたらいののではないかと、思います。また、私が私達の仕事を、娘を通して私もいろいろと考えさせられる毎日です。

〈渡辺郁子〉

AS 来年は広島です。

〈鈴木〉

が、いいと思った。他の作業所の人と会って、みんな頑張っているなと思った。自治会活動についても、モチベーションを上げた。思ったけれど、今のけやぎでは仕事忙しくて、難しい。アモ、でさるだけやりたいと思った。給料は、たいたい他の作業所と同じくらいだった。



トピックス

こぶし

近頃のこぶし作業所には、『静』の文字が似合いません。ある時は、音楽が大好きな仲間がラジオ体操やアニメの曲などを次から次へとかけて、大きな声で歌いながらドタバタと表決に踊り、またある時は、大声を出しながら作業所内を徘徊する元気な仲間たち。聞いて、静寂さが訪れることはありません。いつも元気な仲間たちで活気に満ちた(足)毎日です。ただ、このころのポカポカ陽気で、午後になると暑うつつになつてしまふ仲間も少なくはないようです。

みなさんも一度、賑やかなこぶしに遊びに来てみませんか?

〈春藤〉

けやぎ

5月22日の日曜作業所。いつものように、買い物訓練を終えてから、みんなが都賀町のいちご園へ、いちご狩りに行きました。

甘い匂りの漂うハウスの中で、仲間も職員も夢中になつて、いちごを採りました。食べることに夢中になり、持ち帰る箱の中はカラッポの仲間も、箱を揺らしすぎて既に箱の中はジュースになつていた仲間も、皆楽しそうでした。

〈塩入〉

人・人・人 車・車・車の 益子陶器市

ゴールデン集合。竹の子御飯・おにぎりウイーク中のコーヒーの準備をし、開店。5月3日(火) 天気にも恵まれ、通行人も多く4日(水)にまた、場所も休憩所の隣りにけやき作業所の保護者の企業、益子陶器市にお店を出しました。さあ明日は何にしようか。陶器市のメ 職員の皆さんとお母さん方のイン通りに場 相談の結果、夜7時にけやき所を置き、に集合し、それぞれに持ち寄り朝8時に、たもち米、ささげ、竹の子

等々で、豚汁と未飯の準備をしました。明日に向けて、重く、なした足に一歩一歩力を入れて動かし、やっと9時半に出来上がりしました。

4日は朝から天気予報通り雨がパラつき、通行人も少なく、人出を見ながら御飯を炊きました。しかし、不思議なことには、パラついていた雨は止んでしまい、大鍋3つの豚汁は早くも完売。気が付くと隣りの無料休憩所には、豚汁

第65回
栃木県マイデー

参加した 仲間の声

よかった。もっと給料上げてほしい。(床井)

たのしかった。トラックに乗れた。(池田)


一度は乗ってみたいと思っていたダンプカーに念願叶って乗れた。眺めがよかった。(酒巻)

また出たいと思います。プラカード持っていたいんだ。歩くのも運動になります。(大橋)

疲れた... (見目ア仔)

疲れたらよかったよ、また出たい。(関本)

うるさい、ほこりっぽい。わからない。でも 来年も参加したいです。そのうちなにか わかりたいです。(牛丸)



老人福祉の影で

先日、けやき作業所後援会を広げるために、芳賀(市貝・芳賀・益子町)を回り、福祉課長が老人福祉の問題に言及し、「全県内の老人保健福祉計画が出そろった」と話しはじめました。県内の計画はすべて自前の計画で、各関係団体の意見を聴取してつくりあげたといっています。(他県では、厚生省の指定する業者に委託して画一的な計画が策定されることも多いといえます。)

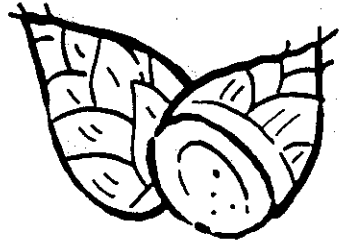
ただし、この間の国の福祉関係の補助率が切り下げられたこともあり、市町村の台所は火の車、県で出したマニュアル以上のものは出せないだろうと言っていました。しかし、『みんなのぬがい六月号』によると、全国の自治体も全て計画を出し切り、なんとヘルパーの増員は国の計画より二万人も多くなっています。たどり着く。老人福祉に対する住民の要求がいかに切実かを物語っています。さらに感じるのは、障害者



七竹の子御飯、コーヒーカープのゴミの山。もうおにぎりも残り少なくなってきた頃になり、雨が降り出してきました。4日も無事終了することができました。

職員のみなさん、お母さん方、本当にご苦労様でした。

〈鎌田政〉



おめでとう!

5月11日に、精神薄弱者福祉事業功勞者として、けやき作業所主任指導員の成田高志さん(31才)が、栃木県精神薄弱者愛護協会から、表彰されました。

6がつの 予定

- 4日 休所日
- 5日 法人理事会
- 11日 休所日
- 12日 けやき作業所一周年記念行事(けやきまつり)
- 18日 休所日
- 25日 職員会議
- 26日 スポーツ大会
- 27日 代休